

追加説明資料②

道路・街路事業

- | | | | |
|-----------------------------------|--------|-------|-----|
| ①都市計画道路八尾富田林線
(八尾藤井寺工区) | 街路事業 | | P 2 |
| ②都市計画道路大阪岸和田南海線
(上町工区) | 街路事業 | | P 6 |
| ③主要地方道大阪和泉泉南線
(都市計画道路大阪岸和田南海線) | 道路改良事業 | | P10 |

都市計画道路 やおとんだばやし 八尾富田林線
（八尾藤井寺工区）街路事業
[八尾市・藤井寺市・羽曳野市]

【事前評価】

1. 事業目的

(修正前)

本路線は、八尾市から富田林市までを南北に結ぶ幹線道路である。
本事業は、八尾市道木ノ本田井中線から府道堺大和高田線までを結ぶ区間で、八尾空港に隣接する大阪府中部広域防災拠点及び大阪府広域医療搬送拠点への重要なアクセス道路である。
併せて、自転車歩行者道を整備することによる、歩行者・自転車の安全確保を目的としている。



(修正後)

本路線は、八尾市から富田林市までを南北に結ぶ**主要**幹線道路である。
本事業**により**、八尾市道木ノ本田井中線から府道堺大和高田線までを結ぶ**ことで、広域的な幹線道路ネットワークを強化し、並走する府道大阪中央環状線や国道170号などの周辺道路の交通分散化を図る。また、大和川以南から大阪府中部広域防災拠点及び大阪府広域医療搬送拠点への重要なアクセス道路となるため、広域緊急交通路として位置付け、防災機能の強化を図る。**
併せて、自転車歩行者道を整備することによる、歩行者・自転車の安全確保を目的とする。

2. 対応方針（原案）

（修正前）

<判断の理由>

- 本事業は、八尾市道木ノ本田井中線から府道堺大和高田線までを結ぶ区間で、八尾空港に隣接する大阪府中部広域防災拠点及び大阪府広域医療搬送拠点への重要なアクセス道路であり、災害発生時に緊急車両等で救助・救急、医療、消火及び緊急物資の供給をより迅速に行うことが可能となる。
- 十分な幅員が確保された自転車歩行者道を整備することにより、歩行者・自転車の安全が確保され、快適性が向上する。

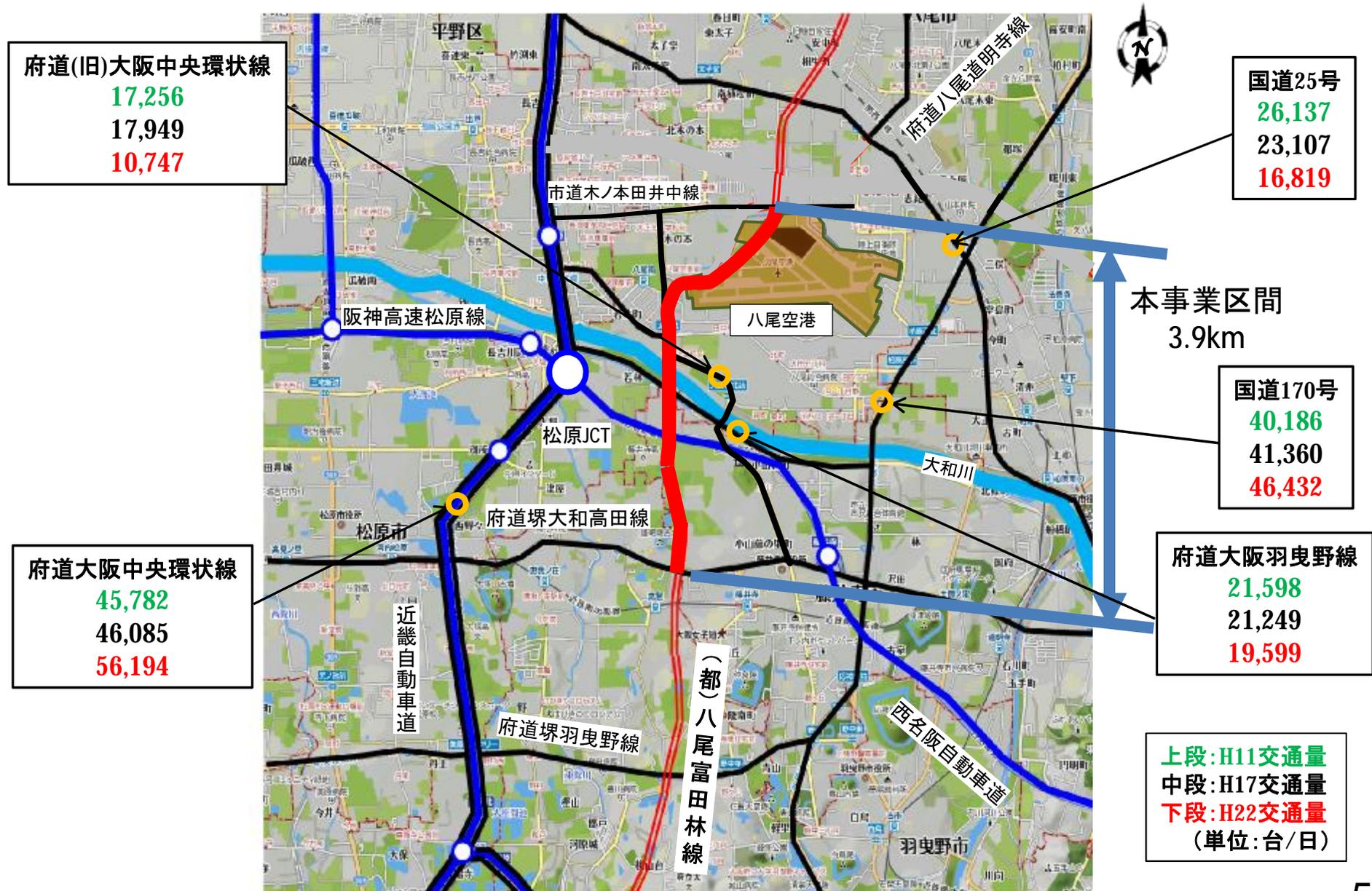


（修正後）

<判断の理由>

- 本事業により、広域的な幹線道路ネットワークが強化され、並走する府道大阪中央環状線や国道170号などの周辺道路の交通量が分散化される。
- 大和川以南から大阪府中部広域防災拠点及び大阪府広域医療搬送拠点への重要なアクセス道路となるため、広域緊急交通路として位置付け、防災機能の強化を図る。
- 十分な幅員が確保された自転車歩行者道を整備することにより、歩行者・自転車の安全が確保され、快適性が向上する。

3. 周辺道路の交通量の推移



都市計画道路 おおさか きしわ だなんかい 大阪岸和田南海線

かみちょう
（上町工区） 街路事業

〔和泉市〕

【事前評価】

1. 事業目的

(修正前)

本路線は、大阪市内と泉州地域を結ぶ主要幹線道路である。

本事業により、府道泉大津美原線を挟み府道大阪和泉泉南線から府道富田林泉大津線までの区間が整備済みとなり、広域幹線道路ネットワークと防災機能の強化を図る。また、並走する現道の府道大阪和泉泉南線の狭隘区間の交通量の分散化及び歩行者等の交通安全を確保するため、バイパスを整備する。



(修正後)

本路線は、大阪市内と泉州地域を結ぶ主要幹線道路である。

本事業により、府道泉大津美原線を挟み府道大阪和泉泉南線から府道富田林泉大津線までを結ぶことで、広域的な幹線道路ネットワークを強化し、並走する現道の府道大阪和泉泉南線の交通分散化を図る。また、整備後は広域緊急交通路として位置付け、防災機能の強化を図る。

併せて、自転車歩行者道を整備することによる、歩行者・自転車の安全確保を目的とする。

2. 対応方針（原案）

（修正前）

＜判断の理由＞

- 広域幹線道路ネットワークと防災機能の強化を図る。
- 並走する現道の府道大阪和泉泉南線の狭隘区間の交通量の分散化及び歩行者等の交通安全を確保する。



（修正後）

＜判断の理由＞

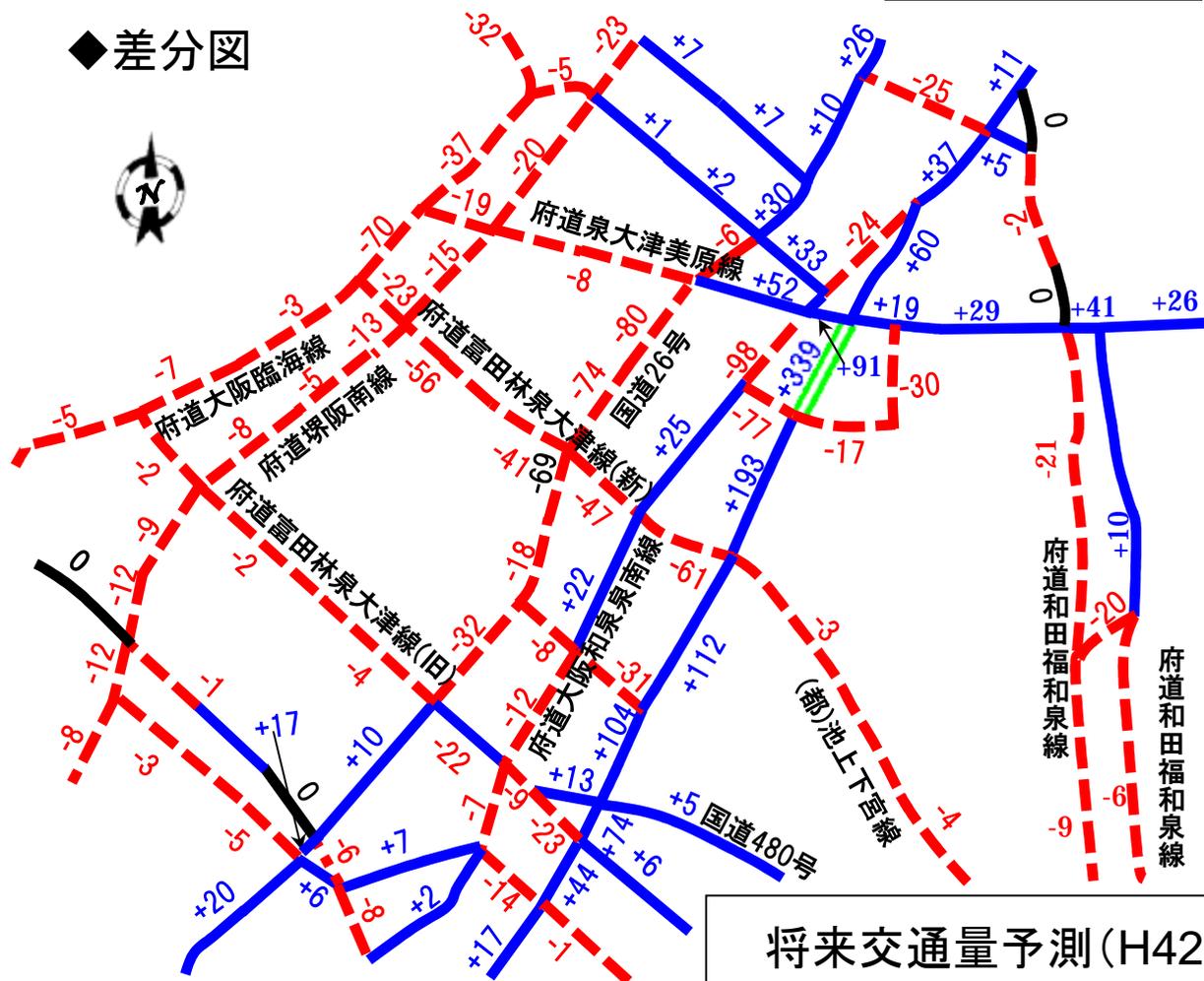
- 本事業により、広域的な幹線道路ネットワークが強化され、並走する現道の府道大阪和泉泉南線の交通量が分散化される。
- 整備後は、広域緊急交通路として位置付け、防災機能の強化を図る。
- 十分な幅員が確保された自転車歩行者道を整備することにより、歩行者・自転車の安全が確保され、快適性が向上する。

2. 事業の必要性等に関する視点

■事業の投資効果(費用便益分析)②

単位:(百台/日)

◆差分図



・差分図
各リンクについて、整備有無による交通量の差を図化したもの

交通量が減少している箇所は、**プラス便益**が発生

- 交通量増加
- - - 交通量減少
- 事業箇所

本事業区間の整備により、並行する国道26号、府道大阪和泉泉南線の交通が本路線へと転換している。

主要地方道 おおさか いずみ せんなん 大阪和泉泉南線

（都市計画道路 おおさか きしわ だ なんかい 大阪岸和田南海線）

道路改良事業
[泉南郡熊取町]

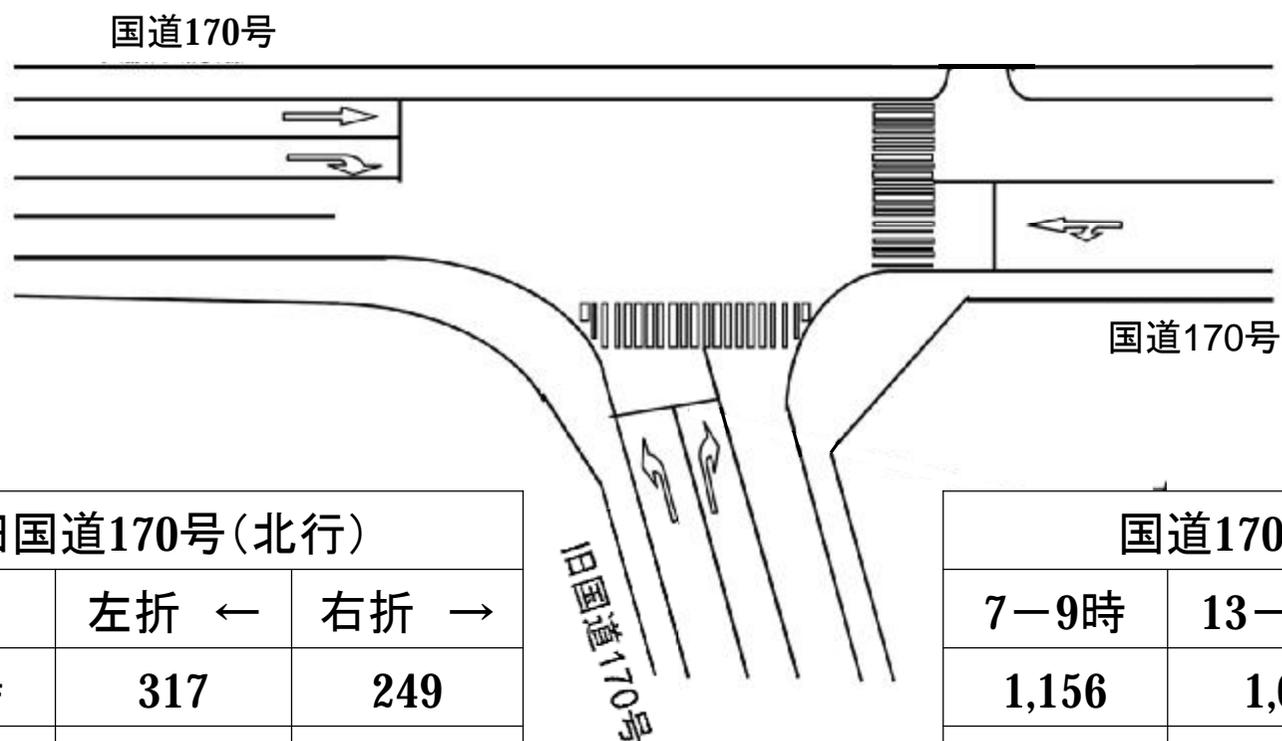
【事前評価】

1. 主要渋滞箇所について

国道170号(東行)		
7-9時	13-15時	
1,241	1,154	直進 →
180	154	右折 ↓

【H25年度 交通量調査】

単位:台



旧国道170号(北行)		
	左折 ←	右折 →
7-9時	317	249
13-15時	352	324

国道170号(西行)		
7-9時	13-15時	
1,156	1,025	直進 ←
165	200	左折 ↓

1. 主要渋滞箇所について



※主要渋滞箇所は、「京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会」が、旅行速度等により抽出した箇所に道路利用者など地域の意見を反映して選定している。